

平成29年度学校評価の結果について

北海道美深高等養護学校あいべつ校

1 教職員アンケートの結果

(1) 調査対象

教育職員（教諭 実習担任教諭 実習助手 養護教諭） 22名
行政職員（事務職員） 2名 計25名

(2) 回収率

合 計 24 / 24 (100%)

(3) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

肯定的回答（A：十分である、B：おおむね十分である）が90%を超えた項目

経営方針、教育課程（個別の教育支援計画、個別の指導計画、授業時数、週時程表）、
生徒指導（生徒との信頼関係、問題行動早期発見）、安全指導、情報発信、連携、
保護者対応、事務手続き

イ 評価の低い項目

否定的回答（C：やや不十分である、D：不十分である）が比較的多い項目

教育課程（個に応じた授業）、生徒指導（適切な指導）、進路指導
PTA活動）

ウ わからないと回答した項目

集計からの分析

- 学校教育目標や教育方針、経営方針の達成に向けて教育実践を行っている成果が表れた。
- 信頼される学校を目指して、教職員一人一人が服務規律の遵守を強く意識し、実践を行った成果が表れた。
- 危機管理や学校の環境衛生について、日頃より安全管理に重点を置いて取り組んでいる成果が表れた。
- 教育相談や地域との連携等の船体一的な役割について、成果が表れた。
- ▲ 学校教育目標や教育方針の達成に向けて取り組んでいる、個別の指導計画及び個別の指導計画の充実にむけて、P－D－C－Aサイクルによる再点検行い、抽出された課題を次年度の重点課題として取り組む。
- ▲ 生徒の人格や人権を尊重するとともに、適切な言葉遣いや態度で指導する点において評価が低いため、生徒との適切な距離感や、教師側の関わる姿勢についての課題を解決する必要がある。
- ▲ 昨年度に引き続き、特別支援教育の専門性を基盤とした個に応じた指導をはじめ、教職員個々の専門性向上に向けて、校内における実践研究の充実に加え、校外における研修会等へ計画的かつ積極的に職員を派遣し、研修内容の還流を行う。
- ▲ 進路関係の情報の発信や共有、生徒の進路実現に向けたシステムや取組方法をあらためて構築することが急務である。

2 保護者アンケートの結果について

(1) 調査対象

保護者 44名

(2) 回収率

保護者 40/44 (91%)

(3) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

肯定的回答（A：十分である、B：おおむね十分である）が90%を超えた項目

教育方針、教育課程（個別の教育支援計画、個別の指導計画、個に応じた授業）、

生徒指導（人格尊重、生徒との信頼関係）、安全指導（事故防止、施設・設備）、進路指導、

情報発信、連携、保護者対応（相談、服務規律、PTA活動、情報伝達）、事務手続き

イ 評価の低い項目

否定的回答（C：やや不十分である、D：不十分である）が比較的多い項目

生徒指導（適切な指導）

ウ わからないと回答した項目

教育課程（個別の教育支援計画、個に応じた授業）、生徒指導（生徒との信頼関係、適切な指導）、安全指導（事故防止、施設・設備）、保護者対応（PTA活動、情報伝達）、事務手続き

集計からの分析

- 28年度に引き続き、保護者との対応時の服装や態度について、高い評価を得ました。
- 保護者への適切な情報提供や、教育方針・教育課程の説明（教育内容、個別の教育支援計画、個別の指導計画等）、個に応じた授業の実践によって、教育課程に対する満足度の向上につながったと考えます。
- 事故防止に向けた安全対策や施設・設備及び環境衛生の改善により、安全・安心な学校生活を送ることができていると評価されました。
- PTA活動について、多くの保護者が参加できる環境の整備を行うことによって、組織の活性化が図られ、高い評価を得られることとなりました。
- ▲ 生徒と教師間の信頼関係を構築し、生徒との共通理解を図りながらすすめる生徒指導に対する期待の大きいことが明らかとなりました。

自由記述と集計からの分析による今後の取り組み

■ 生徒指導（適切な指導）について

- ・ 生徒指導や生徒対応の場面において、今まで以上に生徒と共通理解を図り、信頼関係の構築に取り組みます。

■ 情報発信、保護者対応について

- ・ 引き続き、丁寧な保護者対応に努め、教育的な専門用語は極力使用せず、保護者にとってより内容の分かりやすい、文書等の作成に努めます。

■ 進路指導

- ・ 卒業生の保護者からの情報等も含めるなど、懇談会や説明会において、生徒や保護者により一層分かりやすい内容となるよう努めます。

3 教職員アンケートと保護者アンケートの比較の結果(保護者：教職員)

(1) 教職員の評価が高く保護者の評価が低い項目

生徒指導(共通理解) 80%:95%

(2) 教職員、保護者ともに評価が高い項目

教育方針 98%:100%、教育課程(個別の指導計画) 93%:95%、教育課程(個別の指導計画) 93%:91%

生徒指導 95%:96%、安全指導(安全対策) 95%:96%、安全指導(環境衛生) 95%:100%

情報発信 98%:100%、連携 98%:100%、保護者対応 95%:100%、事務手続き 90%:100%

(3) 保護者の評価が高く、教職員の評価が低い項目

教育課程(個に応じた授業) 90%:86%

生徒指導(適切な指導) 95%:88%

進路指導 93%:83%

自由記述と集計からの分析

■ 生徒指導(共通理解)について

- ・生徒の日常における機微について、より注意深く観察を行うとともに、微細な変化についても家庭との情報共有を行い、学校と家庭が共通理解のもと、効果的な生徒指導が行える体制を構築する。

■ 安全指導(危機管理)について

- ・生徒指導や生徒対応について、職員間での共通理解を十分に図り、即応的に対応できる指導体制を検討する。

■ 情報発信、保護者対応について

- ・懇談会運営及びPTA活動についての改善を図ることで、高い評価を得るに至った。
- ・昨年度の課題解決に向け、できる限り平易な表現を用いて、保護者にとって分かりやすい内容の文書作成を継続して行うことにより、高い評価を得るに至った。

■ 進路指導

- ・昨年度同様に、進路先決定までの取組内容および、卒業後の生活についての具体的な道筋を、生徒や保護者にとって理解しやすい方法で説明する。

4 生徒アンケートの結果について

(1) 調査対象

生 徒 45名

(2) 回収率

生 徒 44／45 (98%)

(3) 設問項目からの分析

ア 評価の高い項目

「はい」が90%を超えた項目

生徒指導（社会でのルールやマナー）

イ 評価の低い項目

「いいえ」が10%を上回った項目

満足度、困り感、信頼関係、友人関係、相談体制、進路指導、学習指導、
学習の内容、自己有用感、

ウ わからないとの回答が10%を上回った項目

自己有用感（34%）、相談体制（23%）、満足度（23%）進路指導（20%）、
学習指導、信頼関係、困り感、学習の内容、友人関係、生徒指導

集計からの分析

- 生徒指導について、昨年度に引き続き、肯定的な回答が高い項目となっています。社会人になるために必要な力について、共通理解のもと、指導を徹底して行っていることが生徒にもしっかりと伝わっていると考えます。
- ▲ 「困り感」については、学校生活における自分の居場所や目標、役割などが明確にされていないため、楽しみや意欲につながっていないと考えられます。各学年やクラスにおける居場所作りや役割、意欲につながる活動の充実を図る必要があると考えます。
- ▲ 「友人関係」については、生徒相互の対人関係の希薄さ、事故理解、他社理解に課題のあることが関係していると考えられます。生徒が互いのよさを伝え合う場面や、周囲の人から感謝される場面を多く設定することが必要があると考えます。